



2021年度  
SDGs・ESGの取り組みについて

2022年4月25日

株式会社コーエーテクモホールディングス

〒223-8503 神奈川県横浜市港北区箕輪町1-18-12 TEL: 045-562-8111 (代表) <https://www.koeitecmo.co.jp/>

©コーエーテクモゲームス All rights reserved.

コーエーテックモの精神

# 創造と貢献

新しい価値を創造して、社会に貢献する

## 経営基本方針

### 最高のコンテンツの創発

素晴らしいコンテンツを通じて、お客様に最高の感動を提供する

### 成長性と収益性の実現

経営基盤を安定化させ、更なる発展を目指す

### 社員の福祉の向上

業績と福祉の向上により、活力に満ちた魅力ある企業となる

### 新分野への挑戦

社会にとって役に立つ新しさの実現にチャレンジし続ける

「創造と貢献」の精神のもと、

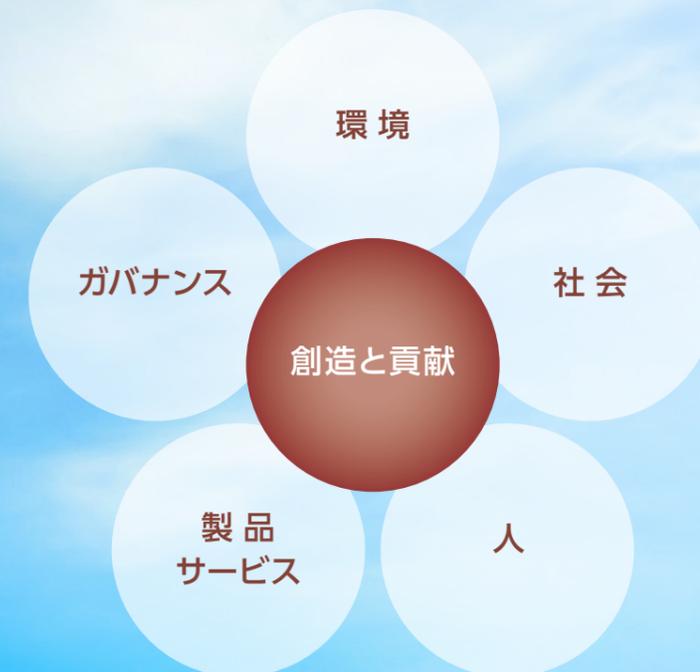
新しい価値を創造して、世界中の皆様への心の豊かさや  
幸せに寄与貢献していくことが私たちの存在意義です

コーエーテックモグループは ESG に積極的に取り組む経営を行い、  
長期的に SDGs を達成していくことを企業目標にしています

## マテリアリティ(重要課題)の設定

取り組みにあたり5つのマテリアリティを設定し、  
それぞれを推進していくことで、持続可能な社会の実現に貢献し、  
企業価値の向上を図ります

## コーエーテックモグループのマテリアリティ



# 環境 ENVIRONMENT

## 大事に守り、伝えていく

省エネ、省資源化を推進し、  
環境に配慮した効率的な経営を行います



### 「KTビル」のサステナビリティ

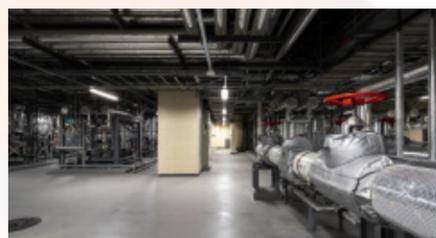
当社は、2020年1月に竣工したコーエーテックモゲームスの新本社ビル「KTビル」(横浜・みなとみらい)において、サステナビリティの実現に積極的に取り組んでいます。「KTビル」で培ったサステナビリティのノウハウを自社所有オフィスに展開し、グループとして省エネ・高効率のオフィス環境を実現します。

#### 省エネ設備の導入

オフィス内の照明にはLED照明を採用し、トイレ・洗面台に節水型の設備を導入しています。

#### 地域冷暖房システムによる省エネ

横浜・みなとみらい地区は、冷暖房・給湯等に利用する冷水・蒸気をエネルギープラントで集中的に製造し、エリア内の施設に供給する地域冷暖房システムの導入によって、省エネルギーで環境にやさしい都市開発を推進しています。「KTビル」では、地域冷暖房システムとフロア全体の空気を押し上げる床下吹出空調を組み合わせ、さらなる省エネ・高効率の空調システムを運用しています。



エネルギープラントで集中的に作られた冷水や蒸気が、地下の配管を通じて各施設に供給されています。



#### 施策

#### 2021年度実績

●省エネ・高効率のオフィス環境	○地域冷暖房方式の採用 (KTビル)
●自社ビルの緑化	○日吉本社のオフィス内に植栽を設置 (KTビルに続いて2拠点目)
●社員食堂・寮・社宅・保養所の充実	○自社所有の社宅ビルを新たに2棟建設(69部屋)
●電力消費モニタリング	○主要4拠点(日吉本社、第2ビル、ジェミニビル、KTビル)での電力消費モニタリングを実施
●サーバ仮想化、システム化推進による電力抑制	○業務遂行支援と高いセキュリティを両立した、当社独自のコミュニケーションツール・ゲーム開発支援システムを開発し、運用(80環境以上) ○物理サーバで稼働していたゲーム開発支援用ツールを仮想環境で稼働する新しい開発支援システムに移行(10環境以上) ○老朽化した物理サーバの仮想化・集約、クラウド環境への移行
●高効率なIT機材の導入、省電力化による「脱炭素」化「CO2」削減への貢献	○老朽機材で稼働していたシステムを廃止・統合・移行し、物理サーバを削減(30台以上)
●社内会議のペーパーレス化	○取締役会、経営会議のペーパーレス化(A4用紙換算で年間1,303kg相当)
●ゲームマニュアルの電子化	○電子化移行済(紙マニュアル6g、2021年度販売本数813万本換算で49t相当)
●DXによるペーパーレス化の推進	○電子請求書システムの導入(電子化率94%) ○電子契約書システムの導入(年間1,000件超) ○ゲームモニター業務のワークフロー化によるペーパーレス化(100%)
●環境関連事業への寄付・投資・支援活動の拡充	○山階鳥類研究所、経団連自然保護基金への寄付を実施
●クールビズ・ウォームビズの拡充	○通年ノーネクタイ勤務の実施
●TCFD等に基づく気候変動に関するリスク及び収益機会に関する開示	○必要なデータを収集し、充実した開示を行えるよう検討中

#### 緑化への取り組み

外壁・外構に多種多様な植栽を整備することで、周辺環境に配慮し、都市の景観に彩りを加えています。オフィス内では各フロアに生きた植物による室内庭園を設置し、役職員が快適に過ごせる創造的な職場環境を実現しています。



オフィス内にもグリーンエリアを設けています。

#### 自社所有物件による「社員の福祉の向上」

コーエーテックグループは経営基本方針として「社員の福祉の向上」を掲げ、その取り組みの1つとしてオフィス、寮・社宅・保養所等施設を自社で所有しています。自社所有の強みである行き届いた維持・管理・改善によって、役職員に快適なオフィス環境・福利厚生施設を提供しています。グループ内に専任部署「不動産部」を設置し、国内・海外の不動産運用と自社利用物件のファシリティマネジメントを担当しています。2020年の「KTビル」に続き、2021年度は自社所有物件の拡充として、東神奈川に2棟の寮を竣工し、寮と社宅を合わせて360室が用意されています。



東神奈川に9番目、10番目となる新しい2棟の寮が完成しました。



# 社 会 SOCIETY

## 私たちにできることを

社会の一員として、学術振興や地域・社会貢献、災害支援などに取り組みます



### 学術振興活動への取り組み

エンタテインメントコンテンツ産業においては、次世代を担う人材の育成が必要不可欠です。コーエーテックグループは、ゲームソフト開発、最新技術に関する教育、シミュレーション&ゲーミングに関する研究支援などの学術振興活動を継続的にを行っています。

### 職業教育活動による地域貢献

毎年地域の小・中学校に「まちの先生」として講師を派遣し、ゲームクリエイターの仕事について理解を深めてもらうための職業教育活動を行っています。2021年度は足利市の生涯学習センターで、また横浜市では箕輪小学校、日吉台中学校において「まちの先生」の活動を行いました。



「まちの先生」では、受講いただいた方々から好評をいただいています。



施 策	2021年度実績
● 業界団体のガイドライン・レーティングの遵守	○当社ゲームソフトについて、国内・海外での審査機構 (CERO、ESRB、PEGI など) によるレーティング審査を実施
● ゲーム依存症、ガチャ問題への対応	○一般社団法人コンピュータエンターテインメント協会 (CESA) のガイドラインに沿った課金制度を運用。品質管理部門において、同ガイドラインに基づいたガチャ検証を実施 ○自社サイト「GAMECITY」においてゲーム関連 4 団体合同での「ゲームを安心・安全に楽しんでいただくための取り組み」についての啓発動画と CESA サイトへのリンクを公開
● 商品の社会的品質の向上	○品質管理部門において、ユーザービリティ専門チームを設置するとともに、機能的なバグから地域文化、社会的問題までを踏まえた QA ナレッジをデータベース化
● 学術振興、地域・社会貢献、災害支援活動の継続	○地域の小・中学校において、ゲームクリエイターの仕事についての職業教育活動（「まちの先生」）を実施 ○ゲームソフト開発分野における未来の人材育成を目的として、大学での経営トップ・技術者による講演会を開催（3 大学 6 講演） ○慶應義塾大学の寄付講座「日吉学」、グローバル・パスポート・プログラムへの寄付を実施 ○日本シミュレーション&ゲーミング学会 (JASAG) や科学技術融合振興財団 (FOST) への助成を通じて、シミュレーション & ゲーミング分野の研究活動を支援
● 災害義援金、救援金の寄付活動	○2021 年 7 月および 8 月の豪雨災害に対し、100 万円の義援金を寄付 ○ウクライナ人道支援のため約 50 万ドルの義援金を寄付 ○東日本大震災に際し、『赤い羽根「震災ボランティア・NPO サポート募金」』に合計 1 億円の拠出（2011 年、2012 年） ○横浜市に新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 対策用医療用物資 1 億円相当を寄贈（2020 年） ○京都府に新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 対策支援「京都市文化芸術活動緊急奨励金」に対し、3,000 万円を寄付（2020 年）

### 大学での講演会や説明会

ゲームソフト開発や AI・ゲームエンジンなどの最新技術について大学で講演会を実施しています。これまでに東京大学、慶應義塾大学、京都大学、早稲田大学、東京工業大学で講演等を行いました。



2021年度は当社のスタジオからオンラインで講演をしました。

- 〈2021 年度講演内容〉
- 「シブサワ・コウのゲーム開発」：  
襟川陽一（株式会社コーエーテックモホールディングス代表取締役社長）
  - 「ゲームエンジンのデザイン」：  
三嶋寛了（株式会社コーエーテックモゲームス執行役員フューチャーテックベース長）

### シミュレーション&ゲーミング分野の研究活動支援

日本シミュレーション&ゲーミング学会 (JASAG) や科学技術融合振興財団 (FOST) への助成を通じて、シミュレーションやゲーミングを教育・学術分野に応用し、科学技術と人間社会・文化が融合した豊かな世界を創造するために支援を行っています。当社代表取締役社長 襟川陽一が理事長を務める FOST では、2007 年度より、最も優れたシミュレーション&ゲーミングの研究者を表彰する FOST 賞を開催しており、2022 年 3 月に第 15 回 FOST 賞授賞式を行いました。



オンラインで開催された FOST 賞授賞式。左上から時計回りに FOST 理事長の襟川陽一、新人賞の横山実紀氏、審査員長の白鳥令氏、FOST 賞と社会貢献賞をダブル受賞した鈴木研悟氏。



PEOPLE

## だれもが笑顔に

多様性を尊重し、福祉の向上と  
人材育成を図ることで、  
働きがいのある職場を実現します



### 多様性の要：女性の活躍

#### 女性経営者の活躍

代表取締役会長である襟川恵子は、夫である代表取締役社長襟川陽一と共に、創業者として経営に携わりつつ、CGデザイン、ファイナンス、人事、福利厚生の拡充など、多様な仕事を行いながら、家庭との両立を果たしてきました。世界初の女性向けゲームを作り、マルチメディア展開のためのルビーパーティーブランドを立ち上げるなど、世の中のバリアを打ち破り、コーエーテックモグループの女性の活躍を牽引しています。また、長年にわたりゲームソフトの著作権保護と業界の国際的な発展のために尽力し、7つの社団法人や公益法人の設立に従事した功績から、2015年に藍綬褒章を受章しました。2021年にはソフトバンクグループ株式会社の社外取締役に就任するとともに、経済雑誌Forbesの「2021 Asia's Power Businesswomen 2021」「50 Over 50: Asia 2022」に選出されるなど、女性経営者として活動の幅をさらに広げています。

#### ワークライフバランスの実現

コーエーテックモグループでは、女性のキャリア形成、ワークライフバランスを支えるための制度整備に取り組んでいます。育休・産休制度を整備するとともに、男女ともに取得を推進する風土づくりや社員一人一人のキャリア形成を踏まえた復職支援に取り組んでいます。出産祝金制度(第一子に10万円、第二子に20万円、第三子以降に200万円)や、社員の互助組織「KT会」でのワーキングママ・パパのコミュニティ『ペンギンの会』の活動があります。



当社の取締役は12名中2名が女性です。  
写真上は代表取締役会長 襟川恵子、  
右は取締役 襟川芽衣。



#### 女性管理職・役員比率の向上

コーエーテックモグループの行動規範において社員への公平な評価・処遇を掲げ、昇進、登用においても実力本位で平等な機会を確保しています。社員が働きやすい職場環境の整備に加えて、女性社員のキャリア促進を支える施策を実施することで、女性活躍、女性管理職・役員比率の向上に努めます。

### 施策

### 2021年度実績

- 各種社員教育の実施
  - 研修制度の実施 (新入社員研修、フォローアップ研修、ブラザー制度、中途入社者研修、階層別研修、管理職研修、プロデューサー研修、テーブルマナー研修)
  - さまざまな学びの場を用意 (外部講師講演会、専門知識・最新技術等の社内講習会・勉強会、社外セミナー派遣、英会話講座、通信教育)
  - コンプライアンス研修 (ハラスメント研修、知的財産(商標・特許)研修、契約法務研修)
  - 最先端会議への出席(CEDEC、海外視察研修(SIGGRAPH、GDC等))
- 多様な働き方を可能とする環境・制度整備
  - リモートワーク環境の整備 (SSL-VPN、コミュニケーションツール・ビデオ会議システム、通信回線増速、セキュリティ対策)
  - ウィズコロナにおいて出社・在宅を効率的に運用するハイブリッド勤務体制の構築 (コアタイムなしフレックスタイム制・時短勤務制度の導入、在宅勤務手当の付与)
  - 育休・産休制度の積極運用 (産休の復職率：100%、育休の取得率：80.0%[男性 76.9%、女性 88.9%]、育休の復職率：80.0%[男性 100%、女性 88.9%])
  - 有給取得率 73.3%
  - 制度を整備し、70歳までの就労機会を確保
- 長く働ける職場
  - 2021年度離職率 4.2%(過去3か年の平均離職率 4.0%)
- 業務効率化の推進によるワークライフバランスの実現
  - ハイブリッド勤務体制の導入、業務効率化、DX化の推進、労務管理支援機能の提供による労働時間の削減
- 複線的なキャリア形成の推進
  - 高度な専門知識・技術・実務経験を有する人材をエキスパート職群として処遇し、専門性を高めるための制度を整え、活躍を促進
  - 新会社コーエーテックモクオリティアシュアランスを設立し、必要性が拡大する品質管理(QA)業務について、従業員の登用・処遇制度(QAスペシャリスト)、ゲーム開発者の新たなキャリアパスを整備
  - QAスタッフのトレーナー制度、新人研修プログラムの導入
  - 社内公募制度を設立
  - 50代社員向けのキャリアステージ研修を実施
- 海外開発子会社の人材育成
  - 積極的な人材育成により開発体制を強化し、海外開発子会社でのCG制作を推進
  - 当社グループのゲーム開発職(プログラマー、プランナー、CGデザイナー)1,489名のうち405名(27.2%)が海外開発子会社の人材(2022年3月末現在)
- 女性管理職・役員比率の向上
  - 女性取締役比率 16.7%(2022年3月末現在)
  - 女性管理職比率 7.3%(2022年3月末現在)
  - CG部門の女性リーダー比率 32.7%(2022年3月末現在)
- 外国籍人材の採用拡充
  - 新卒採用における外国籍人材の採用(2019年度 15.6%、2020年度 15.8%、2021年度 16.0%)
- 待遇・インセンティブ
  - 5年連続のベースアップを達成
  - 報奨金・業績表彰制度により、成績優秀な開発者・プロジェクトを厚遇
  - コロナ禍で可能なイベントとして、業績達成記念の無料ランチ提供を実施
  - 奨学金返済サポート制度を運用
  - 基本給平均 23%の増額と新卒初任給 29万円への引き上げ、特別賞与の支給を実施
- 社員のサポート体制の整備
  - コミュニケーションツール、グループウェアにおいてハラスメントの相談窓口を追加開設
- 健康経営の推進
  - メール・オンライン相談によるカウンセリングサービスの導入
  - 新型コロナウイルス職域接種(会社関係者含み3回)、インフルエンザ予防接種の実施
- 出産祝金制度
  - 支給実績：第一子(10万円)：18件、第二子(20万円)：14件、第三子(200万円)：2件



# 製品/サービス

PRODUCTS / SERVICE

## 世界にワクワクを届ける

知的財産を尊重し、  
当社の強みを生かしたオリジナリティーのある  
製品 / サービスを提供します



### 知識への誘い、学びの入り口

2021年10月、当社代表取締役社長の襟川陽一がゲームクリエイター「シブサワ・コウ」として初めて手がけた『川中島の合戦』の発売から40年を迎えました。「信長の野望」「三國志」の歴史シミュレーションゲーム、「真・三國無双」「仁王」のアクションゲーム、「ライザのアトリエ」のロールプレイングゲーム、「金色の колダ」の女性向けゲームなど、様々なジャンルで成長してきました。2022年のNHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」では、シブサワ・コウがゲームで培った3DCG地図の監修として参加しています。今後も、オリエンタルな歴史、文化をテーマにしたエンタテインメントコンテンツを創発し、社会に貢献してまいります。



上:歴史シミュレーションの原点『川中島の合戦』  
右:まもなく発売となる最新作『信長の野望・新生』

### パートナーシップ/ コラボレーション戦略の推進

映画、TVドラマ、舞台、イベントなど多方面とのコラボレーション戦略を推進し、グローバル・パートナーシップの強化に取り組んでいます。映画では、『映画 真・三國無双』が国際共同制作で作られ、中国、香港、台湾、日本で公開されました。



NHK 大河ドラマ  
鎌倉殿の13人

### 施策

### 2021年度実績

- **タイアップによる地域貢献、地方創生事業** ○タイアップによる地方自治体の啓発活動(火災予防、暴力追放、交通安全)への協力を実施  
○地方創生事業において各地域のニーズに応じたタイアップを展開
- **コラボレーション戦略の推進** ○映画、TVドラマ、舞台、イベントなど多方面とのパートナーシップ展開を実施
- **専門技術の追求(CG制作)** ○フォトリアル系からトゥーンシェーディングまで、全方向のCGテイストに対応し、多様なビジュアル表現を追求  
○各専門機能別にチーム・ユニット体制を敷き、知識の共有と長期計画を策定  
○最新ソフトウェアツールや汎用テクスチャ、3Dモデルの活用
- **独自のゲームエンジン「Katana Engine™」の活用** ○データ制作を簡略化する当社独自の制作環境を多数整備し、大幅な業務効率化を実現
- **外部クリエイターとの協力による文化多様性を踏まえたテイスト、クオリティ実現への取り組み** ○ゲーム開発において、著名な映像監督、アクション監督、造形師(スカルプター)、コンセプトデザイナー、ライティング・ディレクター等を起用し、AAA品質の実現に向けたフレームワークを構築
- **知的財産に関するリスクマネジメント強化** ○特許、商標取得の推進による自社権利の保全  
○著作権登録制度の活用(主に中国)  
○知的財産に関する社内研修の実施
- **自社及び他社の知的財産権の尊重** ○特許に関するライブラリ・調査レポートの作成
- **著作権侵害に対する毅然とした対応の継続** ○当社著作権侵害アプリの削除対応  
○各種媒体における当社著作権侵害のモニタリングと削除要請  
○訴訟対応の強化

### タイアップによる地域貢献、地方創生事業

地方自治体、学校、公共交通機関、地域を代表する企業・製品と当社IPとのタイアップによる地域貢献、地方創生事業を積極的に行っています。



地域行政に協力して制作した当社IPを活用した啓発ポスターの例。

#### <2021年度の主な取り組み>

- 『三國志 覇道』 ・神奈川県暴力追放推進センター、神奈川県警察本部とコラボし、暴力団追放啓発ポスターを作成  
・横浜市交通局、横浜中華街(横浜中華街発展会協同組合)と連携し  
『三國志 覇道』デジタルスタンプラリー in 横浜を開催
- 『信長の野望・新生』 ・栃木県足利市の協業による交通安全ポスターを作成  
・岐阜関ヶ原古戦場記念館のイベント「MEET三成in関ヶ原2021」の開催に併せて  
スマホスタンプラリー「信長の野望・新生」スタンプラリーin岐阜・滋賀を開催
- 『戦国無双5』 ・総務省消防庁とのタイアップ企画として火災予防を啓発するタイアップポスターを作成  
・島津家の邸宅「世界遺産 仙巖園」にてコラボイベント「『戦国無双5』と戦国島津」を開催
- 『金色の колダ スターライトオーケストラ』 ・「横浜×『金色の колダ スターライトオーケストラ』1周年キャンペーン」を開催



# ガバナンス

GOVERNANCE

## 共有される志

コーポレートガバナンスとIRの強化に努め、  
企業価値を向上します



### 施策

### 2021年度実績

●プライム市場に即したコーポレートガバナンス体制の構築	○自己株式の公開買付けとユーロ円建転換社債型新株予約権付社債を組み合わせた流通株式比率向上施策を実施
●コーポレートガバナンス・コードへの対応	○取締役のスキルマトリックスの策定 ○支配株主との取引を適切に監視・監督するため、独立社外取締役のみで構成する特別委員会を設置 ○役員の指名・報酬に関して、代表取締役と独立社外取締役で構成する指名報酬委員会を運用
●取締役会の機能強化	○社外取締役 1 名増員 (4 名 / 12 名が社外取締役) ○取締役会の実効性評価 (自己評価) を通じて、継続的な改善を実施
●経営方針・戦略の可視化・文書化	○中期経営計画を策定し、社内外に公表 ○基本理念、経営計画の浸透を図るため、原則月 1 回、経営トップからグループ全役員へのビデオメッセージを配信 ○取締役会の決定に基づき、経営に関する全般的事項を協議決定する会議として原則週 1 回経営会議を開催 ○決算説明会において SDGs・ESG の取り組みについて開示
●IR 活動による株主・投資家との対話	○機関投資家、アナリストとの積極的な個別ミーティング (カンファレンス含む) を実施し、当社の経営計画、業績、価値創造モデルの理解を促進 ○経営トップによる決算説明会 (中間、期末)、CFO・経営企画部による決算説明ミーティング (第 1、第 3 四半期) を双方向のウェビナー形式で開催 ○公益社団法人日本証券アナリスト協会の広告・メディア・エンタテインメント業種において、ディスクロージャー評価 5 位を獲得
●コーポレート・IR サイトの社内評価と改善を実施	○外部サイト評価会社による評価を実施し、社内評価基準を見直し

## プライム市場に対応したコーポレートガバナンス体制

当社は 2022 年の東京証券取引所の市場区分の見直しに伴い、プライム市場に上場しました。プライム市場上場により、グローバルな投資家との建設的な対話や、より高度なガバナンス体制の構築を通じて、企業価値の向上を図ります。SDGs の達成に向けた取り組みを進め、社員の多様性を尊重し、働きがいのある職場環境を実現します。オリエンタルな歴史、文化をテーマにしたエンタテインメントコンテンツを創発し、社会に貢献してまいります。日本を代表するグローバル企業として、「創造と貢献」の精神のもと、長期ビジョンとして掲げる「世界 No. 1 のデジタルエンタテインメントカンパニー」を目指します。

### コーポレートガバナンス・コードへの対応

2021 年度は、社外取締役を 1 名増員し、取締役のスキルマトリックスの策定、特別委員会の設置を実施いたしました。引き続き、プライム市場の上場企業として、コーポレートガバナンス・コードを踏まえたガバナンス体制の強化を進めます。

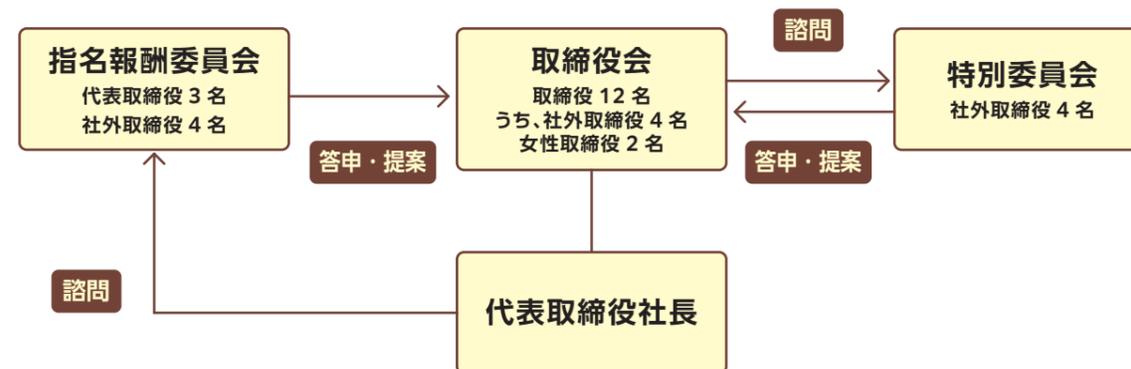
### 社外取締役の活用によるガバナンス整備

当社取締役 12 名のうち 4 名が独立社外取締役です (2022 年 3 月 31 日現在)。当社は、支配株主 (株式会社光優ホールディングス) を有する上場会社ですが、指名報酬委員会と特別委員会を設置することで社外取締役による監督体制を強化し、少数株主の利益を保護するガバナンス体制を整備しています。

### 流通株式比率の向上策

当社はプライム市場区分における「流通株式比率」の上場維持基準 (35% 以上) を充足するため、2021 年 12 月に自己株式の公開買付けとユーロ円建転換社債型新株予約権付社債の発行を実施しました。この組み合わせによるスキームは本邦初で、株式会社キャピタル・アイが選定する「キャピタル・アイ Awards」 「BEST DEALS OF 2021」において、転換社債型新株予約権付社債部門の「特別賞」を受賞するなど、資本市場で高い評価をいただきました。

### ガバナンス体制の模式図



#### 【指名報酬委員会】

代表取締役と独立社外取締役で構成し、代表取締役社長の諮問により当社グループの役員の指名・報酬に関する答申を行う

#### 【特別委員会】

独立社外取締役のみで構成し、取締役会の諮問により支配株主との取引を適切に監視・監督する